

第2学年	
教科 「生活科」 単元名「知りたい つたえたい 町のこと」	場所：2-1教室

## 1 単元の目標

町で生活したり働いたりしている人々との関わる活動を通して、町の良さや町の人々の温かさに気付き、まとめたり、身近な人たちと伝え合ったりする活動を通して、自分たちの町の良さに気付いたり、町やそこに住む人々への愛着を一層深めることができるようにする。

## 2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
町で働いている人や住んでいる人の町への思い、自分たちの生活との関わりに気付くとともに、自分の町の良さに気付いている。	町の様々な場所や人と適切に関わることについて考えたり、町探検で気付いたことや教えてもらったことについて、自分らしい方法で表現したり発表したりしている。	自分が生活している町に関心をもち、町の人々や様々な場所に親しみをもって関わったり、友達と協力して町の人との交流を深めたりしようとしている。
① 自分が住んでいる町には、様々な人々が働いたり生活をしたりしていることに気付いている。 ② 町探検に必要な物や約束(ルールやマナー、言葉遣い、安全面)に気付いている。 ③ 町で生活したり働いたりしている人の様々な工夫や、それらが自分たちの生活を支えていることに気付いている。 ④ 町で生活したり働いたりしている人の町への思いや、それらの人々が自分たちの生活を支えたり楽しくしたりしていることに気付いている。 ⑤ 自分たちの町には、すてきな人や場所がたくさんあることに気付き、町への親しみや愛着が増えていることに気付いている。	① 自分が住んでいる町にはどんな人がいるのかを思い起こし、友達と交流している。 ② 前回の町探検の経験を生かし、会いたい人や行きたい場所、知りたいことや調べたいことを思い描きながら、計画を立てている。 ③ 相手や場、状況に応じた適切な行動を意識しながら、インタビューしている。 ④ 一緒にしてみたいこと、更に聞いてみたいことを決め、相手のことを考え、場に合った行動を意識しながら、町の人と関わっている。 ⑤ 町で働いている人や住んでいる人と自分たちの生活との関わりを振り返りながら、教師や友達と話している。	① 自分が関わったことがある人や知っている人について話し合い、町探検を楽しみにしている。 ② グループの友達の意見と自分の意見を調整しながら、楽しく安全で礼儀正しい町探検が行えるように進んで準備しようとしている。 ③ マナーやルールを守って、進んでインタビューしようとしている。 ④ 町探検で見たことや聞いたことを出し合い、どのように伝えるのか相談している。 ⑤ 友達の発表を聞いて、さらに町の良さを見付けている。

### 3 単元について

#### (1) 指導内容

本単元では、導入で春に行った町探検の写真や絵地図を活用して振り返ったり、日常生活の地域での経験を思い出させたりして、地域への関心を高められるようにする。また、何のためにどこに行きたいのか探検の目的を明確にして町に繰り出していく。1回目の探検では、児童の感動や発見、疑問を大切に、2回目の探検へと繋げていく。2回目の探検では、町の人々との関わり（インタビュー活動等）を通して、一人ひとりがより深い思いや願いをもてるようにする。

「もっといろいろな場所を調べたい」「もっと町の人と仲良くなりたい」など「もっと～したい」という強い思いや願い（こだわり）をもった探検活動の連続となるよう本単元を構成していく。そして、町の人々とふれあったり関わったりする楽しさや町探検で行った場所のすばらしさを実感できる体験活動として大切に扱いたい。この実感が、今までとは違った地域のすばらしさへの気付きとなり、地域の愛着を感じるようになることを考える。また、単元を通してグループでの活動が主となるため、グループ活動を通して自分や友達の良さに気付けるよう働きかけ、友達との関わりも一層深めたり広げたりしていきたい。

#### (2) 創造的な資質・能力を重点的に育成する単元として設定した理由

本単元では、まず、春に行った町探検を振り返り、これまでに関わった場所や人をもとに、もっと調べたいことを決め、町探検への意欲をもつことができるようにする。つぎに、グループ毎の探検計画に沿って、町に出かけ、町で働く人に話を聞いたりインタビューしたりすることで、町の人々の思いや工夫に気付くことができるようにする。このように、町の人と関わりたいという思いや願いをもち、相手の状況を考えながらインタビューをする活動を通して、実社会で活躍する人などとの対話を大切に、問題の発見・解決に資する情報収集に進んで関わろうとする態度を身に付けることができると考えた。

### 4 児童の実態

1学期は、野菜を育て、育つ様子を観察してきた。観察するたびに野菜の色や形、大きさなどが変化していることに気付き、大切に育てる児童が多くいた。暑い日が続く中で野菜が枯れないように毎日のように水やりを欠かさない児童と思い出してたまに水やりをする児童がいることから、物事の関心の向け方や関わり方に違いがある。

町探検では、町の素敵なところを紹介し合い、今まで知らなかった町の素敵を見つけるために3回町探検をした。最初は何のような場所があるのか見て回るだけだったが、3回目には施設の中に入って様子を見るなど、具体的に聞きたいことをイメージしながら町探検をした。町の人々と接したり、すてきなものを発見したりしながら、友達と協力して安全に町探検をして、気付いたことを振り返りカードに書いた。たくさんことに気付き、具体的に自分の思いをインタビューしたいと思う児童やお店の中をもっと見学したいと思う児童など、児童の色々な思いがあった。

児童の発達の段階や特性は様々であるが、一人一人の児童の思いや願いを叶え、自分たちの生活が様々な人や場所と関わっていることに気付くことができるように学びに向かう力等を育む。

## 5 創造的な資質・能力の素地を育成する視点

町の人と関わりたいという思いや願いをもち、相手の状況を考えながらインタビューをする活動を通して、実社会で活躍する人などとの対話を大切にし、問題の発見・解決に資する情報収集にすすんで関わろうとする態度を身に付けることができるようにする。

## 6 創造的な資質・能力の素地を育成するための手だて

### (1) トライ&エラーをくり返しながら取り組むための工夫

小単元「インタビューをしよう」では、自分が聞いてみたいことを考えさせ、順序よく質問できるように文章化させる。さらに、言葉遣いや話す速さなどについて事前に練習し、友達とアドバイスし合うことで、自信をもってインタビューできるようにする。

小単元「町のすてきをつたえよう」では、町探検で関わった人や様子のことについて友達と振り返り、保護者へ伝える活動を通して、町にはすてきな場所があったり、すてきな人がたくさんいたりすることが分かり、自分の住む町に一層の愛着や良さを感じることができるようになる。身近な人（友達、教員）に自分の見つけた町のすてきを発表し、「伝わったこと」や「もっと知りたいこと」について書かれた「すてきカード」を交換し合う時間を設定することで、自分たちの発表の良さを感じたり、見直したりできるようにする。そして、保護者へ伝える際には、自信をもって、より分かりやすい発表となるようにする。

### (2) 自分事としてとらえるための工夫

この学習を行うに当たっては、地域の人々の協力が欠かせない。以前からのつながりを大切にしながら、地域が常に変化していることを踏まえて、児童にとって身近な協力者を探った。児童が主体的に活動できるよう、協力者には学習のねらいを丁寧に説明し、共通理解を図る。

小単元「町探検の計画を立てよう」では、漠然と「～にもう一度行ってみたい」と思うのではなく、何のためにどこに行きたいのか探検の目的を明確にもてるように支援する。目的が不明確な児童には、友達の考えをヒントにして、自分の目的を確認したり、再度考えたりするように助言することで、主体的に活動できるようにする。また、グループごとに町探検の計画を立てるため、グループを作る際には、一人ひとりの思いや願いができるだけ実現されるように配慮する。また、1グループを3～4人に設定することで、児童全員が自分の役割をもち、果たしていこうという意識をもつことができると考えた。

### (3) 相手意識をもつための工夫

地域の人と関わる際の礼儀・態度などの約束については、前時までの指導だけでなく、町探検に出発する前に再度十分伝えることで、マナーを守って行動できるようにする。そして、実際に地域の人と関わり、マナーを守ることで互いに気持ちよく生活できるという体験を重ね、児童自らが人々と適切に接する大切さを感じ、その接し方を身につけられるようにする。

本単元では、地域の人と関わって心に残った出来事を「町のすてき」と定義している。具体的には、①町の人との関わりの中で気付いたこと②町の人「町への願い」を聞いて感じたこと③自分の心に強く残っていること④町のすきな場所や人が増えたこと⑤友達だけでなく、保護者の方々にも伝えたいこと等の視点である。この視点にそって、誰に、何を、どのように伝えるのか明確にして、町のすてきをまとめられるようにする。

7 指導計画（全23時間）

時	○主な学習活動 ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手だて	◆評価規準【観点】（方法）
1 ・ 2	【町のことを知ろう】 ○町探検をして、町にはどのようなお店、施設、公園などがあるのかを調査する。	◆自分が住んでいる町には、様々な生活をしたり働いたりしている人がいることに気付いている。【知・技】（発言） ◆自分が関わったことがある人や知っている人について話し合い、町探検を楽しみにしている。【主体】（発言・態度）
3	【町のことを知ろう】 ○町探検で見付けたことを白地図にまとめる。	◆自分が住んでいる町には、様々な生活をしたり働いたりしている人がいることに気付いている。【知・技】（発言） ◆自分が関わったことがある人や知っている人について話し合い、町探検を楽しみにしている。【主体】（発言・態度）
4 ・ 5	【町たんけんの計画を立てよう】 ○調べたい場所ごとにグループをつくり、第1回目の訪問で調べることを考える。	◆前回の町探検の経験を生かし、合いたい人や行きたい場所、知りたいことや調べたいことを思い描きながら、計画を立てる。【思・判・表】（発言・カード） ◆グループの友達の意見と自分の意見を調整しながら、楽しく安全で礼儀正しい町探検が行えるように進んで準備しようとしている。【主体】（発言・態度）
6 ・ 7	【町のことを知ろう】（見学先別） ○自分たちの計画に基づいて、訪問先を見学する。	◆自分が住んでいる町にはどんな人がいるのかを思い起こし、友達と交流している。【思・判・表】（発言・態度） ◆グループの友達の意見と自分の意見を調整しながら、楽しく安全で礼儀正しい町探検が行えるように進んで準備しようとしている。【主体】（発言・態度）
8 ・ 9	【町のすてきをまとめよう】 ○見学して発見した気づき、すてきなことを振り返る。 ○まとめ方をグループで話し合っ決めて。 ○見学先への質問内容を話し合っ考える。	◆訪問先を思い起こし、気付いたことやすてきなことについて友達と交流している。【思・判・表】（発言・態度） ◆グループの友達の意見と自分の意見を調整しながら、楽しく安全で礼儀正しい町探検が行えるように進んで準備しようとしている。【主体】（発言・態度）

10 く 13	<p><b>【インタビューをしよう】</b></p> <p>○インタビューの仕方を知り、役割分担をしたり練習をしたりする。</p> <p>○見学先の人にインタビューをする。</p>	<p>◆相手や場、状況に応じた適切な行動を意識しながら、インタビューしている。【思・判・表】(行動・態度)</p> <p>◆マナーやルールを守って、進んでインタビューしようとしている。【主体】(行動・態度)</p>
14 く 17	<p><b>【町のすてきをまとめよう】</b></p> <p>○自分たちで考えたまとめ方で訪問先のすてきなどところをまとめる。</p>	<p>◆伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら、伝える内容や伝える方法を決めている。【思・判・表】(作品・発言)</p> <p>◆町のすてきを伝えたという思いをもって、町探検で見つけたことや分かったことを自分なりに表現したり、まとめたりしようとしている。【主体】(作品・態度)</p>
18 ・ 19 本 時	<p><b>【すてきを伝え合おう】</b></p> <p>○友達とすてきを伝え合い、自分たちの発表の良さを感じたり、見直したりする。</p>	<p>◆相手意識や目的意識をもって、分かりやく伝え合い、「すてきカード」から改善策を考えている。【思・判・表】(発言・態度・作品)</p> <p>◆町のすてきを多くの人に広めたいという思いをもって、展示や発表を工夫して楽しもうとしている。【主体】(発言・態度)</p>
20 ・ 21	<p><b>【発表をパワーアップさせよう】</b></p> <p>○友達からの「すてきカード」を見て、自分たちの発表を見直す。</p>	<p>◆「すてきカード」を基に、伝えたいことが相手に伝わるかどうかを考えながら、伝える内容や伝える方法を決めている。【思・判・表】(作品・発言)</p> <p>◆町のすてきを伝えたという思いをもって、「すてきカード」を基に自分なりに表現したり、まとめたりしようとしている。【主体】(作品・態度)</p>
22 ・ 23	<p><b>【町のすてきをつたえよう】</b></p> <p>○おうちの人を招待して、「町のすてきはっぴょう会」を開く。</p> <p>○自分たちのまちのすてきについて振り返り、これから町をどのようにしていきたいか、町とどのようにかかわっていくかをまとめる。</p>	<p>◆相手意識や目的意識をもって、分かりやすい伝え方を工夫して、伝え合っている。【思・判・表】(発言・態度)</p> <p>◆町のすてきを多くの人に広めたいという思いをもって、展示や発表を工夫し、みんなで発表会や交流会を楽しもうとしている。【主体】(発言・態度)</p>

8 本時の指導計画

2年1組 (全23時間中の第19時) 授業者：(青木 裕香)		場所：2年1組
目標：これまでの町探検で見つけた町の素敵な所をグループごとに発表し、町の良さに改めて気付く。		
	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価規準【観点】(方法) ★創造的な資質と能力の素地を育成するための手だて
導入	○町のすてき発表会の準備や最終確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">じぶんたちが見つけた 町のすてきをつたえよう。 はっぴょうをきいて 新しい町のすてきを見つけよう。</div> ・インタビューしたお店の素敵などを知ってもらいたい。 ・町のすてきなどが伝わるように話そう。  <発表する時の工夫> ・自分たちが見つけた町のすてきが伝わるようにする。 →紙芝居、ポスター、スライドなど  <聞く時の視点> ・町のすてきの「伝えたいこと」 ・発表を聞いて気になったこと、もっと知りたいこと(質問)	★めあては町のすてきを伝える側と伝えられる側の2つにする。 ★発表で大切な視点を確認し、目的意識をもって発表できるようにする。 ★聞く側には「すてきカード」を配り、友達はどうなすてきを見つけたのか、興味をもって聞けるようにする。
展開	○町のすてきをグループごとに分かれて順番に伝える。 各グループの発表終了後、聞いているチームと大人が発表の感想を伝える。 ・写真があったことで、すてきだと思ったことが、より伝わってきた。 ・行ったことがある場所でも、初めて知ることがあった。 ・～をもっと知りたいと思った。  ○グループごとに、友達や大人からもらった感想をもとに、次の発表会で、よりすてきを伝えるために、できることを話し合う。 ・写真を追加しよう。 ・町のすてきをもっとつたえるために、この言葉を入れよう。	◆【思】(発表・態度・作品) ◆【主】(発言・態度) ★教員から、感想や質問をもらえるように事前に依頼する。 ★感想を言うグループと教員の発表者の順番を決めておく。 ★発表グループの児童以外は全員聞き手になり、よかったところや気になったところを「すてきカード」に記入する。
振り返り	○次回頑張りたいことをグループごとに発表する。 ・写真を入れて、もっとお店のよさが伝わるようにしたい。 ・次は町のすてきをもっと伝えられるようにがんばりたい。	★友達や教員の感想から次の発表会に向けて頑張りたいことなどを発表し、意欲を高める。

9 社会で活躍する人との連携

企業名	依頼内容	資質・能力の育成に期待できる効果
コーナン ゲスト のこのこ食堂 サーティワン ゲーバーズ	お客さんのための工夫、お店で大事にしていること、働いているときにうれしかったこと・大変だったことを話してもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お店の人の思いを児童が知るきっかけをつくり、興味・感心を高める。</li> </ul>
浜竹図書館 糶谷駅 萩中文化センター	みんなが使う場所で大切にしたいこと、利用する人への思い、管理しているときに大変なこと、なんのために施設があるのかについて話してもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公共施設についての理解を深め、自分たちが使う当事者としての意識を高め、今後の生活に生かす。</li> </ul>